

# 1年生の学習の様子

2月7日（金）国語科「じゃんけんやさん」をひらこう（話す・聞く）  
～あたらしいじゃんけんをつくろう～（活用）

○単元のねらい 大事なことを順序よく話すことができる。

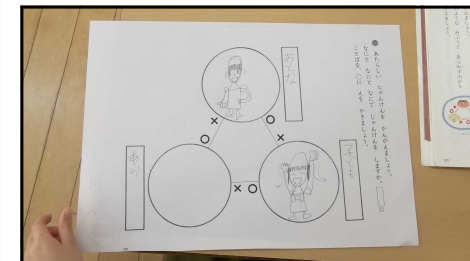
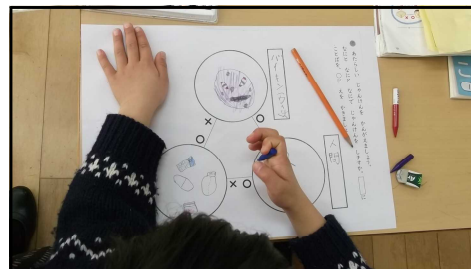


この単元で、1年生は、教科書を使って、普通の「石」・「はさみ」・「紙」のじゃんけんだけでなく、「鬼」・「人」・「豆」のように3つのものの関係から勝ち負けを決め、それらを使ったじゃんけんをどのように説明すればみんなに伝わるのか、大切なことを順序よく話す話し方を学習しました。

本時は、既習を活用して身の回りから3つの「もの」や「こと」を選び、勝ち負けを考えました。この時間は、選んだ3つを絵と言葉で表し、みんなに伝えるという学習をしました。

この後、

- ①自分で考えたじゃんけんの勝ち負けの理由を考える。
- ②じゃんけんの方法を順序よく説明し、お互いのじゃんけんのやり方を知る。
- ③新しく作ったじゃんけんをして遊ぶ。  
という学習をしていきます。



子供たちは勝ち負けがつきそうなものを身の回りから探しだし、かわいい絵を描いて表していました。読書が大好きな女の子は、『北風と太陽』からヒントを得たので「氷・太陽・雲」の3つを選び出しました。日頃からは、テレビニュースに興味を持っている男の子は、「ウイルス・人・薬」と書きました。このウイルスは、きっと新型コロナウイルスをイメージしているのでしょう。

2つの勝ち負けならともかく、3つそれぞれが一方に勝って、一方に負ける関係にあるものを探し出すことは、頭が固くなった大人には難しいのですが、子どもたちは楽しそうに自分の考えをワークシートに書き進めていました。私と同じように2つ考えたところで、「う～ん。」と止まってしまった子は、しばらく考えた後、「ここまで考えたんだけど、次で困っているの？ ヒントをくれない？」と隣の席の友達にアドバイスを求め、協力して仕上げていました。



授業の最後の振り返りでは、「いろいろなじゃんけんについて聞くことができてよかった。」「友達がヒントをくれたから完成できた。ありがとう。」「みんなの考えもよかったし、自分の考えもよかった。」等の授業感想が挙がりました。「みんなちがって、みんないい」考え方でした。お互いを認め合い、助け合い、みんなで学ぶよさを感じている姿をうれしく思いました。

また、我慢することも知り、給食では、嫌いな食材が入った献立でも完食できるようになりました。あどけなく頼りなかった1年生の大きな成長を垣間見て、幸せな気持ちになった1日でした。